

【活動レポート】8月 安曇野ひかりプロジェクトに参加して



8/16-20の期間、長野県安曇野市で《安曇野ひかりプロジェクト》と題された福島を家族を迎えての交流プログラムにスタッフとして参加させていただきました。

大人も子どももそれぞれに癒されることができるよう、地元の人たちの協力によって様々なイベントが実施されました。

私は子ども達の活動サポーターとして、4泊5日の間、のびのびと野山で遊ぶ福島の子供達と朝から晩まで一緒に活動しました。

庭でとれたトマトをそのまま食べ、川の水で手を洗い、池でどろんこになりながら生き物を探し、自分で絞ったヤギの乳を飲む。安曇野の大自然は家にいたら決してできないような体験を子ども達にさせてくれました。初めは何をして良いのかわからず「特にやりたいことはない」と言っていた子ども達が、大自然の中で過ごすうちに好きなことをどんどん見つけ、最後には「釣りをしたい、滝に登りたい、乳搾りがしたい、虫を探したい...」とやりたいことが次々に出てきたのが印象的でした。



安曇野の地域の方々の気持ちが繋がってみんなの力で手作りされているこの温かい取り組みを知ることができ、その一端に携わせてもらえて、素敵な人々との出会いと貴重な経験をたくさん得ることができました。昼間は豪快に子どもたちと活動しているスタッフの大人が、夜のふりかえりでは「この子のこういうところは気をつけてあげよう」など、繊細に対応されていた様子から学ぶことができました。最終日のシェア会では、このプロジェクトに参加した方々から心に響く言葉をたくさん聞かせていただきました。

偶然にもご縁があって10年ぶりに訪れた安曇野。子ども時代の楽しい思い出がたくさんあるこの場所は、前と変わらずキラキラした素敵な町でした。そこで子ども達と目一杯遊ぶことができて幸せです。

5年前から変わってしまったこともたくさんあるけれど、ここでできた思い出がずっと変わらずに子ども達の中に残り、思い出すたびにちょっと嬉しくなって前向きになれるようなキラキラした記憶になればいいなあと思います。

(国際社会学部 インドネシア 岸野彩花)

日時: 2016年10月12日

